

一専修念佛のとから、わが弟子、ひとの弟子という争論の候らんこと、もてのほかの子細なり。親鸞は弟子一人ももたず候。そのゆえは、わがはからいにて、ひとに念佛を申させ候わばこそ弟子にても候はめ。弥陀の御もよおしにあづかって念佛申し候ひとを、わが弟子と申すこと、きわめたる荒涼のことなり。つくべき縁あればともない、はなるべき縁あれば離れることのあるものを。師にそむきて人に連れて念佛すれば往生すべからざるものなりなどということ、不可説なり。如来より賜りたる信心を、わがもの顔にとりかえさんと申すにや。かえすがえすもあるべからざる事なり。自然（ジネン）のことわりにあいかなわば、仏恩をもしり、また師の恩をも知るべきなりと云々」

新編の生涯

二



京都へ帰られた親鸞様のもとへ関東に残したお弟子たちからいろいろな訴えがひつきりなく寄せられてきました。多くは弟子門徒集団のあいだの非難中傷であつたようです。異説・異安心の実態はあつたでしょうが、それを増幅したのは門徒集団間の対立抗争にあつたように思います。弟子集団のあいだには勢力争いや、弟子の取り合い合戦もあつたに違ひありません。いわゆるセクト主義の嵐に親鸞は悩まされ続けたようになります。

信心も念仏も、「如來から賜ったもの」わたしの計らいや分別で作り上げるものではない。如來の本願力（他力）回向の信心を、「わがものの顔」（わたしの信心。わたしが学んだ教義）に取り込んで、それを弟子に教えてあげる伝えてやる。あさましい弟子の私物化・取り合いまでも起こっていったことへの親鸞様のこの歎きの声が私の胸をじかに打つて参ります。

蓮如さまも「文章のなかでも、また」「一代記聞き書きのなかでもいさめられています。「もの知り顔」「心得顔」「わがみあり顔」「独覺心」（ひとりよがり）をいましめ、「教えてあげる」「指導してやる」などの「まいらせごころ」・教師面をなにかにつけて排除自戒なされていきます。これが淨土真宗です。

弟子一人ももたず
だれもが平等に如來ご本願のもとの御同朋同行。



勝林寺こども会



直接戦争へ参加して戦死なさった方のほかに、原爆の犠牲になつた市民、また満州開拓移民に参加し敗走の途次自ら命を断つた多くの子女もいます。その他大勢の戦争犠牲者を出したあの戦争から六〇余年が経過しました。戦争犠牲者のご遺族も次第に減少し、敗戦のいたみも今や風化して、そこからまた再び硝煙の匂いが漂つてくる気配さえあります。

勝林寺では戦後繼續してご門徒全員でこの法要をおつとめして参りました。

ご遺族のみならず、真宗門徒として、お念佛のお同行として、「世の中安穏なれ」とのおもいを噛み締めましょう。

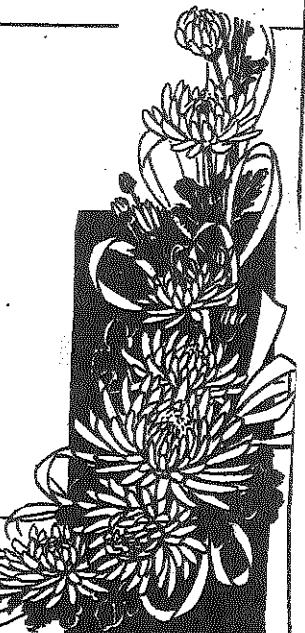
舉つて お参り くじけい。

八

春月のこよみ

「勝林寺こども会」は、50年の長い伝統をもっています。如来さまのおめぐみのなかで、美しいこどもが育つようにと、その時々のおかあさんたちが、仏婦組織の大切な活動として毎年取り組んできたださいました。年一回ではありますが、この「勝林寺こども会」を通して、こどもたちも、お互い、お念仏の仲間として育ちましたし、おかあさんたちもこどもたちのお世話をしながらお念佛の母として成長して行つたように思います、少子化傾向のなかで、規模は小さくなつてきましたが、中身はますます濃密に、お話しになりました。お作法の練習、各種ゲーム。寺めビデオ。お作法の練習、各種ゲーム。寺めぐりなど、たくさん用意してお待ちしています。举ってご参加ください。

十六日	奥地 采男氏宅法事
十七日	尾松家法事
十八日	蔭山和子氏宅法事
十九日	小田益参り
二十日	浜 薫様初盆
二十一日	勝林守マヒド
二十二日	平野初枝様初盆
二十三日	丸中・片間・暮坂益参り
二十四→六日	豊岡益参り
二十六日	坪口益参り
二十八日	坪口益参り 地蔵盆
二十九日	信楽ゼミ勉強会
三十日	みのりを聞く会
	二学期始業
	今井家忌明法事



老人の生き方

一年のうちに三万人もの自殺者があるとか。金もなく、犯罪にはするか死ぬしかないといふ世代の事情は一応合点もいきます。これは新たな公共事業を起こし雇用の増大をはかるとか、国や地方自治体の責任を換起したいという政治的経済政策への要求も浮かんできます。

しかし、老人高齢者の自殺については、どうも合点がいきません。医療保証もあり福祉施設も用意されており、自治体の多くは給食サービス、入浴サービス、いわば至れり尽く競りの福祉施策を行っています。

確かに中には、人なかけるのが苦手と言う方もいるでしょう。人のお世話になるべくなりたくないという人もいるようです。むしろ孤独を選んで一人で死んでいくひともいるはずです。

だが、老人自殺者のうち、孤独状態のなかで亡くなる人よりも、次世代家族との同居状態のなかで自殺する方のほうが多いと聞きました。

なぜ、と考えてみたとき、フト思い浮かんだのは「愛別離苦」という言葉です。愛しあっているものの同士の別れはつらいよ、というのがその本義出しようが、わたしは「愛しあつてのに出会えない苦しみ」と見てしまいました。

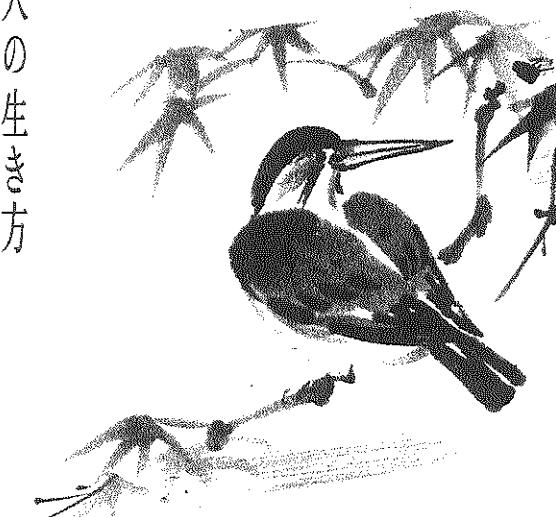
老人の生き方

一年のうちに三万人もの自殺者があるとか。金もなく、犯罪にはするか死ぬしかないといふ世代の事情は一応合点もいきます。これは新たな公共事業を起こし雇用の増大をはかるとか、国や地方自治体の責任を換起したいという政治的経済政策への要求も浮かんできます。

しかし、老人高齢者の自殺については、どうも合点がいきません。医療保証もあり福祉施設も用意されており、自治体の多くは給食サービス、入浴サービス、いわば至れり尽く競りの福祉施策を行っています。

確かに中には、人なかけるのが苦手と言う方もいるでしょう。人のお世話になるべくなりたくないという人もいるようです。むしろ孤独を選んで一人で死んでいくひともいるはずです。

だが、老人自殺者のうち、孤独状態のなかで亡くなる人よりも、次世代家族との同居状態のなかで自殺する方のほうが多いと聞きました。



一家団欒の一時。しかし老人はその中に入つて行けない。ことばのスピードについて行けない。話題も住んでいる世界が全くちがうのでなんのことやら、異邦人。

特別いじわるな者がいる訳ではない。いやむしろ互いに愛し合つているはずなのに、なんだか一人「置いてきぼり」。ひつこく聞きたがつたり、詮索すると、やはり疎外されそうで恐ろしい。

都会の喧噪のたかの孤独

経済的な充足のなかのわびしさなど、きいたこともあるが、我が家にあるのは「愛みちた家族のなかの孤独」。やはり、愛別離苦。

親鸞様が、歎異抄で「聖道の慈悲と言ふは、ものがあわれみ・かなしみ・はぐくむなり。しかれども思うがごとくたすけとぐること、恵めありがたし」といつたあの思いだ。

一人の同年の友が教えてくれた。
「どうせいつかは死ぬのだから。残されたいのちの一日を思う存分生きよう」

彼は、朝、目が覚めたら、
「折角の一日。あれをして、此れをして、一日の段取りを考え、一人でお念仏を称えて、お念仏が出てくださる」と。彼は八十八歳。

それから一日を出発するのだ。仕事しながら痛いつらいと言いながら生きている。



因心師のおしえ

僕の小学校五年生六年生のとき担任していただいた若い男の先生。その先生は、僕たちの卒業式が終わるとすぐにまた大学校に帰つていき、後には世界的な物理学者になられたのだそうです。その先生に教えていただいたいことを今になってとても大切なことだったんだなーとしきりに思い出されます。

それは、運動会のとき、筒メガネをつけて走る競技があります。狭い視野しか見えません、それで、見えているつもりなのが、どちらでもない方向に行つてしまします。それで、最後には、自分の視野よりも、「右だ」「もつと左へ進め」などの、沢山の応援の声を頼りに、やっとゴールすることが出来ました。その後の競技が終わった次の日、その先生がおしゃいました。学問をする。勉強をする。研究をする。その時に先ず一番はじめに大事なことは、自分が見ている、知つていると思つているのは、ほんのちっぽけな範囲。見えないと、分からぬことの方ががもつといつぱいあるのに、「知つてる」「分かつてる」と自惚れることが一番の勉強のみならず人生のつまずき。

まず応援してくれる人の声を聞きましょう。耳をすましてご覧。あなたの周囲にはいろいろな応援をしてくれている人がいます。

ます応援してくれる人の声を聞きましょう。耳をすましてご覧。あなたの周囲にはいろいろな応援をしてくれている人がいます。

僕は偉いんだ、なんでも知つてゐるんだ、と自惚れて、人を馬鹿にしたり、見下げたり、人の意見に耳を貸さない人。これが一番愚かな人です。

大きくなつてお寺の先生から聞く仏教の教えも、おんじだと今頃つくづく思います。小学校のとき教えて頂いたことです。

禅宗の道元様とおっしゃる方は、仏道を習うというは、自己を習うということ。自己を習うと言つるのは、自己を忘れること。(自分の見つける世界は、なんとも羨しいこと)それを知つた時、万法に正せられてゐる私(いろいろな人から応援され、教えられ、育てられている私が)見えてきますよ。

今の私には見えないが、実は大きな大きな恵み(本願力)に、出会つて行く道を歩もうではないかと進めてくださるのが、如来さまの

おさとしのようにこのごろ思えて参りました。

ことわざ

船頭おおくして

船山に登る

指揮者が多すぎて

だれの指示に従つていいのか

職場は大混乱。

破裂状態。

犬も歩けば
棒にあたる

不器用な奴でも

勇氣をもつて実践すれば

必ず幸運に恵まれる

能力のないものが

ちよろちよろ うきまわると

思わぬ不運に遭遇する

あなたはどうちらをとりますか

いやいややってたんでは いつまでたつても

うまくなれないよ。

はじめいやでも上手になれば

その仕事好きになる。

早く仕事に慣れましょう。

